

10月29日のウクライナ情報

安齋育郎

①【戦況です】10/27 日曜版は…🤖!!(ニキータ伝～ロシアの手ほドキ、2024年10月27日)

<https://youtu.be/8rIbiQfT-uY>



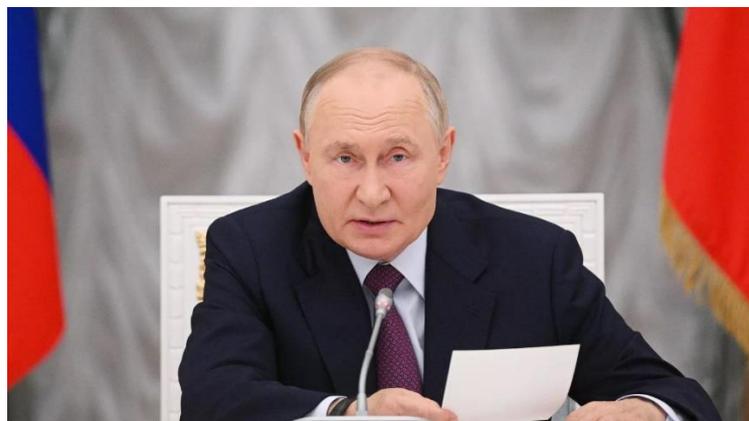
<https://www.youtube.com/watch?v=8rIbiQfT-uY>

②ロシア西部でウクライナ兵 2000 人を包囲、投降せよ＝プーチン大統領(2024年10月26日)

ロシア軍はクルスク州で侵略作戦を続けていたウクライナ兵 2000 人を包囲し、殲滅を開始した。先に太平洋艦隊第 155 海兵旅団はウクライナとの国境から 10 キロの距離で敵の防衛ラインを突破し、包囲に成功した。この包囲をより強化するため、ロシア側は黒海艦隊第 810 海兵旅団と空挺部隊を投入した。ロシア側は包囲網を徐々に狭め、抵抗する部隊を殲滅している。

ウクライナ軍は包囲網の突破を試みているが、成功していない。6 キロ×15 キロの範囲に 2000 人のウクライナ兵が取り残されており、プーチン大統領は投降するよう呼びかけている。

ウクライナ軍は 8 月 6 日朝、クルスク州への侵略作戦を開始した。10 月 25 日時点でウクライナ軍はクルスク州の戦闘により 2 万 6550 人以上の兵士に加え、177 両の戦車を失った。



<https://sputniknews.jp/20241026/2000-19250267.html>

③インドネシア、BRICS 加盟目指すと外相(2024 年 10 月 25 日)

インドネシア外務省は 25 日、同国が BRICS 加盟を目指すと発表した。前日までロシアで開かれた BRICS サミットに参加したなかで、スギオノ外相が表明したとしている。

一方、BRICS 加盟は「どちらかの側につくということの意味するものではない」と強調。G20 や G7 といった枠組みにもこれからも積極的に参加していくとした。

BRICS サミットは 22～24 日、ロシアのカザンで開催された。世界 35 カ国以上が参加し、そのうち 20 カ国以上からは首脳級が出席した。



https://sputniknews.jp/20241025/brics-19249014.html?rcmd_alg=collaboration2

④プーチン氏「西側を褒めたい」 北朝鮮との協力は「我々の話」(2024 年 10 月 25 日)



プーチン大統領は露メディアのインタビューで、北朝鮮との包括的戦略パートナーシップ条約の第 4 条に定められている「一方の国が侵略を受けた場合の軍事的な相互支援」についてコメントした。

「第 4 条は確かにあり、この条文で何をするかは北朝鮮の友人と話し合っている。だが言いたいの
は、これは主権的な決定であることだ。何らかの演習とか準備、経験値の共有は、我々が決めること

だ」

その他の発言

いかなる合意を結ぶ際も、ロシアの国益が確保されなくてはならない。

西側のウクライナ関連のレトリックは変わった。彼らは現実の状況を見るようになった。そのことについては彼らを褒めてもいい。

西側はウクライナへの兵器供給をやめておらず、ロシアと西側の対立の度合いは下がらない。

ウクライナ問題のいかなる和平も、「戦場での現実」に基づいたものでなければならない。取引は行わないが、合理的妥協策を模索する用意ならある。

<https://sputniknews.jp/20241025/brics-19249014.html>

⑤BRICS サミットのハイライト(2024年10月25日)

BRICS サミットが 22～24 日、ロシアのカザンで開催された。35 カ国と 6 つの国際機関の代表団が訪れた 3 日間を、ハイライトで振り返る。

<https://twitter.com/i/status/1849745235334541450>



https://sputniknews.jp/20241025/brics-19249118.html?rcmd_alg=collaboration2

⑥ゼレンスキー氏、核兵器で西側を脅す＝露政府高官(2024年10月25日)

ウクライナのゼレンスキー体制は核兵器を開発すると脅しているが、脅されているのはロシアではなく西側に他ならない。ロシアのブヤケヴィチ OSCE 副大使は理事会後の会合で次のように述べた。

「戦場での敗北を背景に、ゼレンスキー体制は核による脅しを再開した。ウオロディミル・ゼレンスキーは 10 月 17 日、現行の不拡散体制に違反して核兵器を開発する意向を事実上表明した」

副大使によると、西側はウクライナの NATO 加盟について慎重な姿勢を崩していないことから、こうした過激な言動で招待を受け取り、自らの「勝利計画」を推進する考えだという。

一方、ヤヌコヴィッチ政権(2010-2014)で首相を務めたアザロフ氏によると、ウクライナに核兵器の製造は技術的に不可能だという。国内に製造技術は存在せず、実験用原子炉も稼働していない

上に、核弾頭が搭載可能なミサイルや発射装置も解体されているとのこと。ただし、原発から放射性廃棄物を取り出して作る「汚い爆弾」程度であれば数週間で製造できると元首相は分析している。



https://sputniknews.jp/20241025/19248144.html?rcmd_alg=collaboration2

⑦ウクライナ危機で欧州の生産能力はさらに低下……IMF が悲惨な見通し(2024年10月25日)

ウクライナ危機は2025年も継続し、欧州の生産能力はあらゆる分野でさらに低下する。国際通貨基金の報告書で明らかになった。

報告によると、欧州では新規事業の立ち上げが遅れているほか、企業の成長率が低下しているため、生産能力は技術系、非技術系を問わず、あらゆる分野で低下するという。

状況は欧州全体で共通しており、エネルギー安全保障の危機、及び経済の細分化により状況はさらに悪化するとのこと。

また、金融条件の緩和が遅れているため、個人投資の回復も伸び悩んでいる模様。

これに加え、IMFはウクライナ政府による多額の支出、物流とエネルギーインフラへの脅威、労働市場の制限、ウクライナ政府に対する財政支援の必要性に直面する。ウクライナの財政赤字は主に外部資金を動員する形で補填されるとのこと。

IMFはウクライナの2024年GDP成長率予想を3.2%から3%に、2025年は6.5%から2.5%に下方修正した。ウクライナは引き続き高い失業率(2024年は14.2%、2025年は12.7%)とインフレ(2024年は5.8%、2025年は9%)に直面する。



https://sputniknews.jp/20241025/imf-19247367.html?rcmd_alg=collaboration2

⑧ ゼレンスキー「国連事務総長のウクライナ訪問拒否、ロシアでの BRICS 会議出席に反発」(2024年10月26日)

<https://youtu.be/Y9hqAJ2iTgs>



<https://www.youtube.com/watch?v=Y9hqAJ2iTgs>

⑨ 現在、クルスク地域では 2,000 人の敵戦闘員を阻止しました！プーチン(2024年10月27日)

プーチン大統領:我々はいかなる譲歩もしません！いかなる交換もしません！

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領はインタビューに応じ、戦場で展開している状況とウクライナ危機について語った。

<https://youtu.be/T6usS fin5U>



<https://www.youtube.com/watch?v=T6usS fin5U>

⑩【ロシア・ウクライナ紛争】戦況とザハロワ外務省報道官の「大馬鹿野郎」発言 (2024年10月27日)

中立の立場からロシア・ウクライナ紛争を見る。

今回は、ウクライナ軍のとても困難な状況と BRICS は、英米、EU も無視できなくなるほど世界経済に占める割合が大きくなったこと、そしてロシア外務省のザハロワ報道官が、ゼレンスキー大統領のTシャツに対し「大馬鹿野郎」とテレグラムに書いた理由についてのお話です。

接触前線全体でウクライナ軍の後退が目立ちます。もっと早くに後退すれば犠牲は、すくなくったのではないのでしょうか。

クルクス戦線ですが、オルゴフカ地域のウクライナ軍の数は不明ですが包囲されているようです。こちらは、撤退命令がでていないのですがウクライナ軍の兵士が持ち場を離れて逃げていくビデオが揚がりました。

セリドヴォとクラホヴェの間にありますゴルニャクでは strana は命令拒否があったことを伝えていきます。

クラホヴェのウクライナ軍の無人機分遣隊の秘密の場所に FAB-3000 滑空爆弾が投下されたと言います。

最近テレグラムでこのようなTシャツが話題になり、早速日本でもウクライナ宣伝部隊が X で取り上げています。ロシア外務省のザハロワ報道官もこれについて「大馬鹿野郎」という強烈な投稿をしました。「ロシアを再び小さくする」とはソ連が崩壊し周囲の国々が独立して新しく誕生したロシアは、ソ連よりも実質小さくなったのですが、もう一度さらに小さくしようという意味でしょう。どの国もそんなことを言われたら怒るに決まっています。これはいまだに「ロシア分割論」が生きていることを証明しているのではないのでしょうか。

https://youtu.be/B7T_RE2O4P0



https://www.youtube.com/watch?v=B7T_RE2O4P0